



# ロックカチオンシーラーマルチⅢ

033ライン

カチオン型合成樹脂エマルジョンシーラー  
 JIS K 5663 合成樹脂エマルジョンシーラー  
 ホルムアルデヒド放散等級 **F☆☆☆☆**

## ■特長

- ・TVOC（全揮発性有機化合物）を1%未満に抑えた環境対応型水性タイプのため、扱いやすくなっています。
- ・旧塗膜や素地によく浸透し、付着性にすぐれています。
- ・水性のため、溶剤系シーラーでは旧塗膜のチヂミが発生ししやすい条件でも安心して使用できます。また上塗り塗装も水性塗料から弱溶剤型塗料まで幅広く使用できます。

## ■被塗物素材

- ・コンクリート、モルタル、フレキシブルボード、各種新屋根材（住宅用化粧スレート[カラーベスト]など）、けい酸カルシウム板※、窯業系サイディングボードなど。（新設、塗替えともに使用できます。）
- ※けい酸カルシウム板は素材、劣化度合いにより、付着不良を起こす場合がありますので試し塗りを行った後、仕様を決めてください。  
 洋風コンクリート瓦（モニエル瓦、スカンジア瓦など）は塗装できません。

## ■製品要綱

種類・色彩	透明	
主な用途	戸建住宅、集合住宅、商業施設など建築内外部壁面および屋根などの下塗り（屋外、屋内共に使用できます。）	
容量	15kg	
配合比	—	
標準塗付量(kg/m <sup>2</sup> ・回)	0.07~0.13	
標準塗付面積(m <sup>2</sup> /15kg・回)	115~214	
希釈剤	水	
希釈割合 (重量%)	ハケ・ローラー	0 (通常不要)
	エアレス	0 (通常不要)
標準塗装回数	1	
可使時間 (23℃)	—	
指触乾燥時間 (23℃)	30分	
塗り重ね可能時間 (23℃)	3時間以上	
光沢	—	
特化則該当物質	該当物質なし	
有機溶剤表示	—	
消防法による危険物区分	水性の非危険物	
材工価格 (2017年4月現在)	¥450.-/m <sup>2</sup> (当該製品のみ・300m <sup>2</sup> 以上)	

## ■使用上の注意事項

- ・塗料はよくかき混ぜ、均一にしてから使用してください。
- ・塗装作業中および乾燥中は換気を十分行い、その後も塗膜が完全に乾くまでの間は、ときどき換気を行ってください。
- ・塗る面のゴミ、かび、こけ、油分、枯葉などの汚れや、はがれかかった塗膜はよく取り除いてください。
- ・塗装中および塗装後24時間は5℃以下にならない場所で使用してください。また湿度が85%以上の場合は塗装を避けてください。
- ・絶えず結露が発生するような場所、用途での使用は避けてください。
- ・降雨、降雪、強風などの場合、または天候不良が予測される場合は外部の塗装を避けてください。
- ・ヤニの付着が著しく汚れがひどい場合には、中性洗剤を用いてできるだけヤニなどを除去し、十分乾燥させてから塗装してください。
- ・新しいコンクリート、モルタルなどのアルカリ質素材は、含水率10%以下、pH9.5以下になるまで十分に乾燥させてください。
- ・吸い込みの著しい部材については、標準塗付量より多くなる場合があります。シーラー塗装は「ぬれ感が出るまで」を目安に塗装してください。
- ・シーラー塗装後、塗装仕様の塗り重ね可能時間よりも早く上塗り塗装を行うと、ちぢみ、ひび割れ、塗膜不良を起こすおそれがありますので、塗り重ね可能時間は守ってください。
- ・下塗り乾燥後、素地との付着性をガムテープなどで確認し、はがれが認められる場合は再度下塗り塗装を実施してください。
- ・カチオン系シーラーと上塗り塗料と混合するとゲル化して使用できなくなります。また塗装用具を共用することも避けてください。
- ・さげ缶などはプラスチック容器を使用してください。金属類は錆が発生するおそれがあります。
- ・ハケ・ローラーなどの塗装用具は水性用を使用してください。
- ・標準塗付量は塗装時のロスを考慮に入れた数値です。素地の状態、気象条件、塗装方法などによって異なる場合があります。
- ・取扱いの際は製品容器の注意書き、製品カタログおよび安全データシート（SDS）をよく読み、注意事項を厳守してください。

本内容は予告なく変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。